

接続料の算定等に関する研究会（第41回）
ヒアリング資料

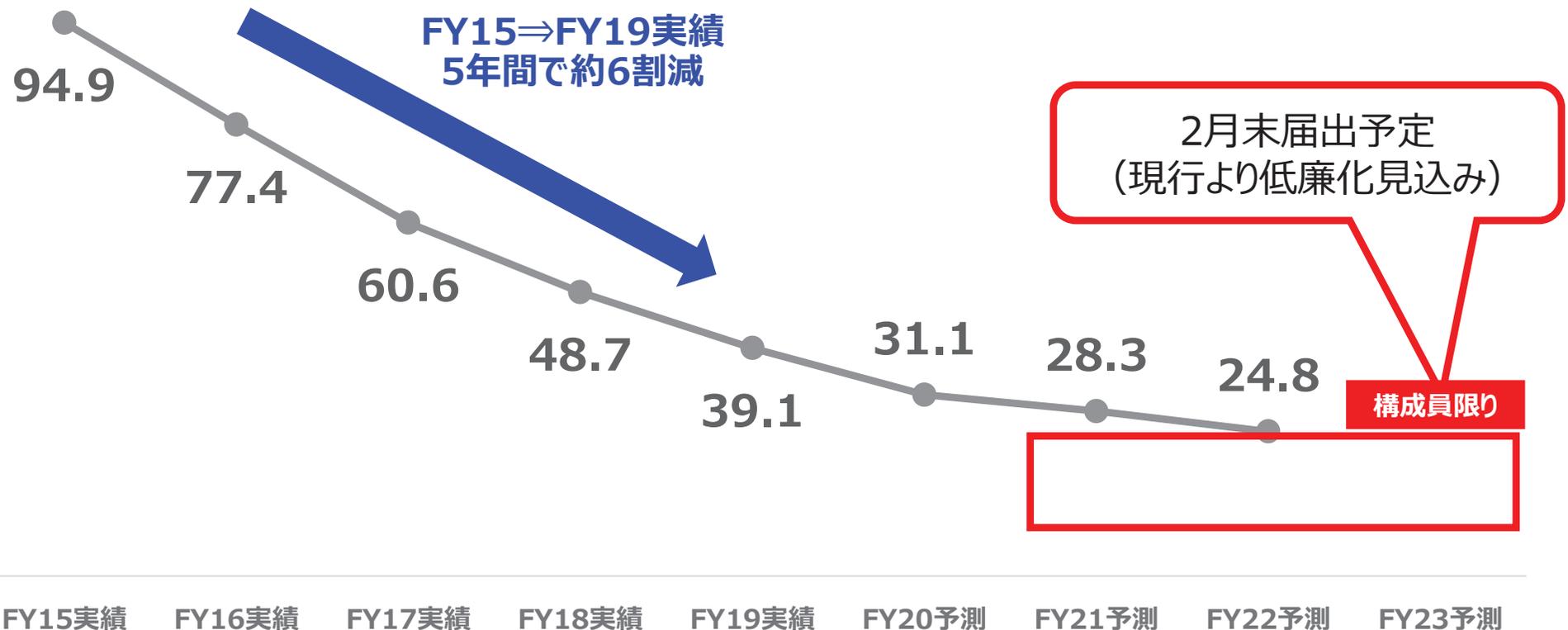
2021年2月8日
ソフトバンク株式会社

1. 当社データ接続料
2. 接続料の算定精緻化
3. 音声接続メニュー・音声卸料金について
4. 利用者料金と接続料・音声卸料金等の検証

1. 当社データ接続料

- 当社データ接続料は、下記グラフに示す通り、毎年大幅な低廉化を実現しています。
- 加えて、昨年度からは将来原価方式の採用により、MVNO殿の予見性確保、キャッシュフロー負担の軽減が実現しております。
- また、本年2月末にはFY21～23の予測接続料を届出予定であり、昨年度予測から更に低廉化した水準になる見込みです。

【万円・10Mbps/月】



- MVNO委員会殿から接続料算定ルールの更なる精緻化の要望に対する当社見解としては、
 - ① 周波数の有効利用や設備競争(ネットワーク効率化) によってデータ接続料が十分に低廉化していること
 - ② 将来原価方式の導入によりMVNO殿の予見性確保・キャッシュフロー負担の軽減が実現していること

といった状況も踏まえ、まずは本研究会の4次報告書（令和2年9月）において整理された「予測値算定の検証可能性確保」、「予測値の算定方法に係るMVNOへの情報開示」、「費用の抽出・配賦の基準の提出」などの取り組み状況および効果を注視すべきと考えます。

- また、環境変化が大きいモバイル事業においては、数年先の予測を精緻に行うことがそもそも困難なため、2年目以降はあくまで参考値とし、4次報告書でもある通り、直近1年目の予測値に重点をおき、検証すべきと考えます。

- 音声接続メニュー（00XYプレフィックス自動付与）は、昨年8月にMVNO委員会殿に概要を説明、早期に機能リリースすべく開発に取り組んでまいりました。
- 本年2月中には、接続約款化の届出を行い、受付開始をご案内する予定です。
- 音声卸サービスは、2017年7月に提供開始していますが、提供開始から約3年を経過した2020年9月に値下げを実施しています。また、音声接続メニューのリリースに合わせて、更なる値下げを予定しています。

構成員限り

4.利用者料金と接続料・音声卸料金等の検証

- 当社の検証では、現時点でもMNOと同等レベルのサービスを提供可能であり、本年2月に届出予定の当社予測接続料（FY21～23）や音声卸料金の見直しにより、更に競争が可能な水準・環境になると考えております。
- また、今回のMNO自らの検証の結果問題無いことが確認され、且つ今後もデータ接続料の低廉化が見込まれ、予見性も確保されている状況から、定期的・継続的な検証の必要性は無いと考えます。
- なお、競争ルールの検証に関するWG（第13回）では、楽天モバイル殿が発表された1GBまでの利用が無料となるプランについて、「これを価格圧搾とみなすのか問われている」と有識者から問題提起があったと認識しており、廉価プラン等のコスト・利潤と料金の関係性については二種指定事業者に限定することなく、調査すべきと考えます。

